



# 宝富士・阿武咲に続け!!

町出身、町相撲道場在籍の未来のスターが続々と育っています。今回は2名の選手をご紹介します!



## 「目指すは関取」町から新たな力士「朝昂」が角界入り

あさすばる



中泊町出身の奈良昂さん(20)がこのほど、高砂部屋に入門し、大相撲の世界に挑戦することを12月9日、町長に報告しました。

奈良さんは幼少期に中泊相撲道場に在籍し、五所川原農林高等学校時代は令和4年の第74回全国高校新人選手権で団体優勝、令和5年の第107回高校相撲金沢大会で団体準優勝を果たすなどの成績を収めています。

「自分の持ち味は押し相撲。目標とする阿武咲関のような相撲を取りたい」「関取を目指して、自分の活躍で町を盛り上げていきたい」と意気込んでいました。

また、幕下で活躍中の安響(安治川部屋)は高校時代のチームメイトで、安響に刺激を受けて高校時代の合宿でもお世話になった高砂部屋への入門を決めたとのこと。

町長は「よく角界入りを決断してくれた。これからの活躍を大いに期待し、応援する」とエールを送りました。

後日行われた1月5日の新弟子検査では体格基準を満たし、11日の内臓検査もクリアしたため、見事合格となりました。

四股名は「朝昂」となります。今後の活躍にご期待ください!!



## 中泊相撲道場中村さん 全国3位の快挙!



東京都の両国国技館で11月30日に行われた令和7年度JOCジュニアオリンピックカップ第38回全日本小学生相撲優勝大会に出場した中泊相撲道場所所属の中村陽翔さん(五所川原市立中央小学校)が、小学5年生の部で3位入賞を果たし、12月18日、町長に結果を報告しました。

中村さんは「出場してみて、自分がまわりより身体が小さいと感じた。ただ、いままで出場した大会で一番よい取り組みだったと思う。強い選手ばかりの大会で自分がこれだけの結果を残せたことが素直にうれしい」と振り返りました。

町長は「全国で3位は本当に立派。これからさらに身体も大きくして来年の活躍にも期待している」と称えました。

